

ポーランド ウッチ大学

[2022年9月～2023年2月分]

現代政策学部4年 茂田敦

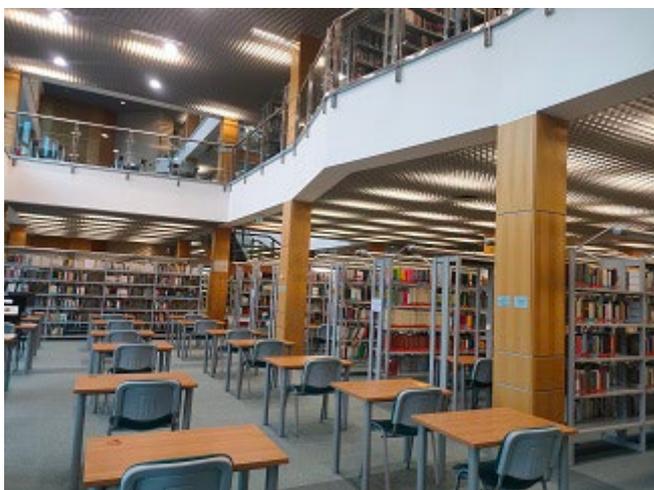
はじめまして。現在私はポーランドのウッチ大学に、2022年9月から半年間の留学中です。ウッチ(Łódź)は、ポーランド人、ユダヤ人、ドイツ人、ロシア人の4つの文化が集まる街として知られ、19世紀は繊維産業の集積地でした。また、映画や芸術大学が集中しており、『戦場のピアニスト』監督ロマン・ポランスキー(Roman Polanski)や『Witcher』シリーズの著者アンジェイ・サプコフスキ(Andrzej Sapkowski)もウッチで学んでいました。



「講義について」

B2以上の英語スキルが求められ、講義によってはスライドやレジュメがポーランド語となっていますが、基本的に英語で受講できます。教科書を購入する必要はなく、多くはオンラインで共有されるレジュメ・教科書を使用します。留学生は学科を跨いだ講義を受講できるため、専門分野以外の教育を体験することもできます。国際政治を専攻している私は、講義内において日本及び東アジアからの視点・意見が求められる頻度が高く、日本のニュースなどに対してもアンテナを張っています。

おすすめの講義はやはりポーランド語講座です。内容は勿論ですが、受講生徒は留学生であるため、情報共有や他国の興味関心を知ることができます。私は毎週ポーランド語の講義が終わると、生徒のみんなで行きま。



「寮について」

私は現在ウッチ大学寮に滞在しています。基本的に二人部屋となっており、各部屋にシャワー・トイレが設備されています。キッチン各フロアにあり、洗濯室に関しては予約制となっています。門限や点呼は特にありませんが、23時以降は寮が閉鎖されることがあります。夜中に帰宅する場合は、呼び鈴を鳴らして開けてもらう必要があるため注意が必要です。

私は2か月間ポーランド人のルームメイトと生活しましたが、パーソナルスペースを確保したいという理由から、フロントと交渉し、現在は一人部屋で生活しています(寮費は約1.5倍上がります)。徒歩圏内にスーパーマーケットがありますので、食料雑貨の調達に困ることはありませんが、日曜日は多くのお店が閉店しています。



「課外体験」

ウッチ大学からほぼ毎週、伝統的な行事・ツアーなどのイベントが提供されます。任意参加ですが、特に留学当初は不慣れなことが多く、情報を共有できる生徒もいないので、イベントに参加して友人関係を築くことをお勧めします。ポーランドの文化のみならず、エラスムス・EUを中心に世界中から来る学生と国際交流ができます。

12月下旬より大学はクリスマスホリデーに入るので、私はその期間に国内を小旅行しました。ワルシャワ・クラクフを中心にオシフィエンチム(アウシュビッツ)にも行き、見聞を深めました。



私は今後、城西大学とポーランドとの関係がより強化されることを願っています。言葉が通じない環境に身を置くことで、内省することも増えます。留学は楽しいことだけでなく大半が苦しいでしょうが、困難を乗り越えた自分自身を、より大切に思えるようになると思います。

